

2020 年 4 月期
奨学生申込書

財団使用欄

受付日: 20

番 号:

写真添付(カラー)

(3 ヶ月以内に撮影したものを貼付のこと)

4.5×3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入のこと

氏名	カタカナ			当財団奨学生経験	有 ・ 無
	パスポート記載の英文			パスポート記載の性別	
	母国語での表記			年齢(2020年4月1日時点)	歳
生年月日 yyyymmdd		年	月	日	日本在留年数 (延べ) 年
E-mail Address		@			
電話番号		() -		国 籍	
現住所		〒		最寄り駅 線 駅	
(2020 年 4 月 1 日時点) 進学大学 又は大学院	☐ 大学 ☐ 大学院		☐ 学部 () 年		
	☐ 学部 ☐ 研究科		☐ 修士		
	☐ 学科 ☐ 専攻		☐ 博士		
	指導教員名		研究室	入学年月・編入年月(どちらかに○をつけてください) 年 月	
卒業予定年月		年 月			
修学予定言語		日本語 ・ 英語 ・ その他 () 語			
専攻分野分類		人文科学 ・ 社会科学 ・ 理学 ・ 工学 ・ 農学 ・ 医歯薬保健学 ・ 教育学 ・ 芸術学 ・ その他			
留学生 担当部署 (申請窓口が記入)	担当部署名(上記在籍大学以外からの申請は申請学校名を明記):		電話 () -		
	担当者名		FAX () -		
	住所 〒				
提出資料の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書 有 ・ 無		(大学院生) 研究実績 有 ・ 無		合格証明書 有 ・ 無 (月 日入手可能)

申込日 20 年 月 日

【受付番号票】 (学校名、氏名を記入のこと)

申請学校名	氏 名 (カタカナ)
	様

奨学生申込書を 番で受け付けました。

受付年月日

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

履歴書-1

氏名(カタカナ):

学歴	No.	期 間	学校名	課 程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	経 歴	奨学金 受 給
	1	年 月から 年 月まで	高校				卒業・中退	有/無
	2	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	3	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	4	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	5	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
「中退」もしくは「休学」の場合は、理由を記入								
職 歴	期 間	勤 務 先	所 在 地 (国・都市名)	職 務 内 容 (在籍状況)				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
資 格・ 免 許			受 賞 歴			特 技		
語学力						過去における日本の在住履歴		
(日本語) 日本語以外で修学している学生は、日本語への取り組みを必ず記入すること			(英語)					
			(その他語学力)					
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと) ※必須						学内で所属する教育プログラム		
						・なし ・あり プログラム名		
						期間 年 月 ~ 年 月		
推薦状(別紙③)を依頼した方との「関係」と、その「理由」								

【記入の注意点】

- 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4 サイズ)にて記入し、あわせて提出すること
- 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること

履歴書-2

氏名(カタカナ):

- ・現在・過去に当財団の奨学生であった家族・親戚がいたら、家庭状況の表右の欄に○をつけること
- ・家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	当財団奨学生経験
	配偶者					
	子供					
	父					
	母					
	兄弟姉妹					
経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無		年額	円
		アルバイト等収入	仕事内容		月額	円
	配偶者の収入	勤務先()・仕事内容()			月額	円
		受給中の奨学金	有 ・ 無		受給期間	受給金額
		名称	年 月～ 年 月		月額	円
		名称	年 月～ 年 月		月額	円
	住居	賃貸住宅・寮・その他()	一人住まい・()人住まい	自己負担額 月額	円/人	
奨学金	現在受給中の奨学金	奨学金名称:				
	・あり(右に記入)→ ・なし	期間: 年 月 日 ～ 年 月 日				
		支給額(月額): 円				
	奨学金受給履歴	年	期間	奨学金名称	受給総額	
		2019年	年 月～ 年 月		円	
2018年		年 月～ 年 月		円		
2017年		年 月～ 年 月		円		
授業料	現在	年間授業料	円	授業料免除	・受けている(下記に記入) ・受けていない	
				免除期間	年 月 ～ 年 月	
				免除総額	上記期間中の総額を記入 円	
	2020年4月以降	年間授業料	円	授業料免除制度	・あり ・なし ・分からない	
				授業料免除申請	・申請する ・申請しない ・未定	
研究助成金や学習奨励金等、授業料免除以外に教育機関から支援を受けている場合は下記に記入						
名称		総額	円	期間	年 月～ 年 月	
		総額	円	期間	年 月～ 年 月	
併願状況 (奨学金に類するもの全て記入)	申請先				結果発表月日	
					月 日 発表	
					月 日 発表	

記入者	学校名	所属
	職名	連絡先(TEL)
	氏名(署名) 印	記入日 年 月 日

学生氏名

[illegible][illegible]

※推薦状は選考において重視します。手書きでの記入を推奨しています。

評価書 (博士課程の学生のみ)

学生氏名

これまで指導してこられた学生の中での相対評価として下記の数字を用いて空欄にご記入ください。

5:大変優れている(上位 5%)	4:優れている(上位 10%)	3:平均以上(上位 25%)
2:平均的(中間)	1:平均以下(50%以下)	

①研究者としての適性

探求心が強く、自発的に研究を進めると同時にリーダーシップを発揮する。

②研究者としての能力

高度な実験技術や正確なデータ収集力及び分析力、論理的な文章力、プレゼンテーション力がある。

③発想の独創性

当該分野の研究を大きく前進させる着眼点や発想がある。

④研究者として特記すべき秀でた能力があればご記入ください。

⑤当該学生の博士号取得の見込み時期及びその可能性をご記入ください。

⑥博士号取得の要件をご記入ください。

※推薦状記入者と同じ方がご記入ください。(厳封にて提出願います。(ホチキス留め不要))

※但し、他大学に進学するため、推薦状記入者が⑥を記入できない場合は空欄で構いません。

自筆必須

☐エッセイ (600字×2枚)

下記の3つ全ての要素を含んだエッセイをあなたの言葉で書いてください。右下の空欄にページ数を記入ください。

- 1.(出発点)日本に留学した理由(はっきりとした専攻がある場合、その専攻を選んだ理由を含む。)
- 2.(現在)在籍(進学)大学でその専攻を選んだ理由(個性的に) 記入日 年 月 日
- 3.(将来)留学後の自分の進路・将来の夢

氏名(カタカナ)

[illegible]

本用紙をコピーしてエッセイを2枚書くこと (24字×25行)

/2枚

【研究実績】(大学院生のみ)

様式⑥

氏 名: _____

①公刊論文 (レフリー付) ※査読中の場合はその旨を明記

論文題名／著者 (全員)／ジャーナル名／出版社／発表年／巻／ページ (最初と最後のページ)

②公刊論文 (レフリーなし)

論文題名／著者 (全員)／ジャーナル名／出版社／発表年／巻／ページ (最初と最後のページ)

③学術発表 (国内)

論文題名／発表者 (全員)／学会名／開催場所／ポスター発表 or 口頭発表／発表年月

④学術発表 (海外)

論文題名／発表者 (全員)／学会名／開催場所／ポスター発表 or 口頭発表／発表年月

【備考】※提出時、以下は削除して印刷して下さい

- ・日本語・PC 入力可。必ず A4 用紙 1 枚におさめること。
- ・それぞれの項目に該当するものがない場合は白紙のままではなく「なし」と記入すること。
- ・博士号取得の要件に該当する研究実績には「論文題名」の横に博士号該当要件と明記すること。
- ・著者及び発表者が複数の場合は全員の名前を書き、自分の名前に下線を引くこと。
- ・修士 1 年生で実績がない場合は学部課程の卒論のサマリーも可。それでも実績が無い場合は、奨学生申込書 (別紙①) 右下の「研究実績 (大学院生のみ)」の欄の「無」に○をつけること。

【研究計画書】(大学院生のみ)

様式⑦

氏 名： _____

研究テーマ： _____

【備考】※提出時、以下は削除して印刷して下さい

- ・日本語・PC入力、図表使用可。必ず A4用紙 1枚にまとめること。
- ・研究要旨を含むこと。
- ・専攻・研究テーマについて、一般の人にも分かるようにやさしく書くこと。